

Jewel Box Fund[®]



Jewel Box Fund[®]

ジュエル・ボックス・ファンド

管理会社：エマージング・アセット・マネジメント・リミテッド

投資運用会社 **TORANOTEC**
ASSET MANAGEMENT

商号等：TORANOTEC投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第384号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

販売会社  **Capital Partners**

商号等：キャピタル・パートナーズ証券株式会社
金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第62号
加入協会：日本証券業協会
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

目次

ジュエル・ボックス・ファンドの概要	1
投資先ファンドについて	4
ファンド情報詳細	11
APPENDIX 今注目のオルタナ投資	16

ジュエル・ボックス・ファンドの概要

個人のお客様にも投資しやすい、プライベート・アセットへの分散投資ファンドです

安定性

株式・債券など伝統的資産の値動きに左右されにくい
プライベート・アセット投資により安定的な収益を追求します

希少性

一般の投資家様にはアクセスが難しい
世界の魅力的な投資機会に参加します

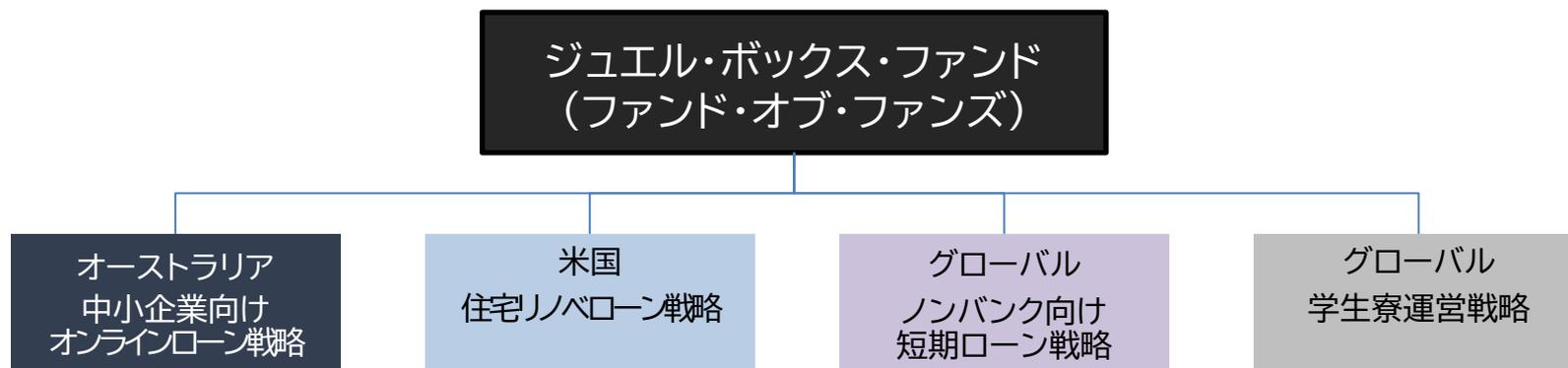
分散投資

ファンド・オブ・ファンズ形態により
運用戦略や投資地域を分散しリスク低減を図ります

外貨建運用

外国籍投資信託ならではの外貨建て運用が可能です
(円クラスもあります)

ジュエル・ボックス・ファンドの概要



投資地域	運用戦略	概要/投資機会・収益源泉	年間リターン (2023年実績)
オーストラリア	中小企業向けオンラインローン投資戦略	ファンド資金を中小企業に貸付けを行うデジタル・レンダーに貸付け、利息収入を得る。デジタル・レンダーは金融テクノロジーを利用して効率の良い貸付けを行う。	+9.68% (豪ドル建て)
米国	米国住宅リノベーション戦略	ファンド資金で中古住宅のリノベーション向け貸付けを行い、利息収入を得る。満期が短いため安全性が高く高収益であるという特徴がある。	+7.18% (米ドル建て)
グローバル	グローバル・ノンバンク向け短期ローン戦略	ファンド資金をノンバンクや事業会社に貸付け、利息収入を得る。フィンテックを活用したグローバル分散融資を行う。	+7.23% (米ドル建て)
グローバル	グローバル学生寮運営戦略	ファンド資金で学生寮購入・寮運営に参画し、利用料収入を得る。世界的に学生寮ニーズが増加しているため、景気循環にディフェンシブであるという特徴がある。	+7.05% (米ドル建て)

目次

ジュエル・ボックス・ファンドの概要	1
投資先ファンドについて	4
ファンド情報詳細	11
APPENDIX 今注目のオルタナ投資	16

オーストラリア中小企業向けオンラインローン戦略

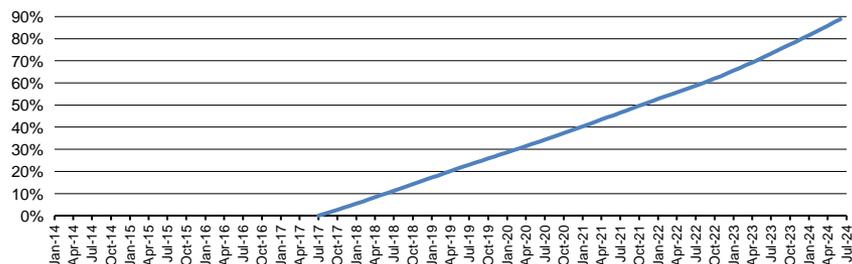
運用戦略の概要

- 中小企業向け直接融資のプールを担保とした資産担保証券に投資
- ローンは選定されたデジタル (AltFi) レンダーが実行
- AltFi レンダーは、金融テクノロジーを使い、従来の銀行ローンより効率的に審査を実施

運用会社

- 所在地 : オーストラリア
- 設立日 : 2017年 (ファンド設立)
- 運用資産 : A\$293m (2024年6月末)
- オーストラリア市場で優良なオリジネーターにアクセスがあり、70社以上のデジタルレンダーを審査した結果7社に投資
- 業界最高水準の中小企業向けローンオリジネーターであり、ストラクチャー、最終借手、証券、借手のサイズ、セクター、リスク等分散して投資
- 出資前の独自のDDプロセス、テクノロジーによるスクリーニング、ディール・ストラクチャー/交渉を活用

運用戦略の累積リターン (実績値)



年度リターンとリスク水準 (実績値)

2017	4.52%
2018	11.24%
2019	9.79%
2020	9.17%
2021	8.88%
2022	8.26%
2023	9.68%
2024	4.79%

年率リターン	9.63%
年率リスク	0.28%
リターン／リスク	34.43

2017年8月～2024年6月 豪ドル建てリターン 各種費用控除後

米国住宅リノベーション戦略

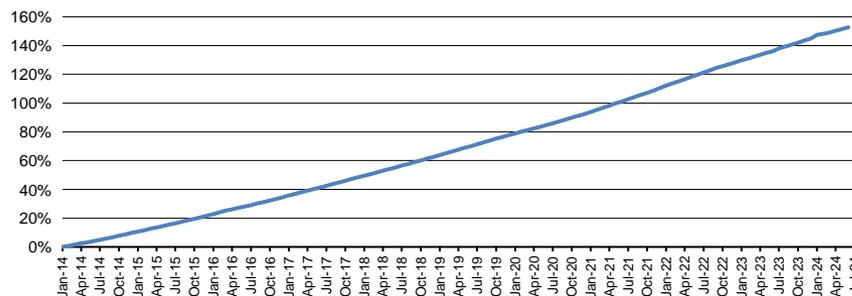
運用戦略の概要

- 建設業者向けの米国住宅のリノベ・ローン
- 不動産担保とローン満期の短さに基づく安全性
- 多数の短期ローンの組成・管理のノウハウと質の高いサービスにより高金利追求

運用会社

- 所在地 : 米国カリフォルニア州
- 設立日 : 2006年
- 運用資産 : \$497m (2024年3月末)
- 米国西海岸の人口増が見込める大都市圏に特化
- 借手（建設業者）より高い評価を獲得
- 米有力公的年金基金からも運用受託
- 担保価値に対する融資比率：平均60~65%
- 融資期間：主に6~18か月
- ハリケーンが到来しない地域に特化

運用戦略の累積リターン（実績値）



年度リターンとリスク水準（実績値）

2014	9.69%
2015	10.97%
2016	10.55%
2017	10.25%
2018	9.61%
2019	9.25%
2020	8.29%
2021	9.39%
2022	8.50%
2023	7.18%
2024	3.24%

年率リターン	9.23%
年率リスク	0.49%
リターン／リスク	18.98

2014年1月~2022年6月 米ドル建てリターン 各種費用控除後

グローバル・ノンバンク向け短期ローン戦略

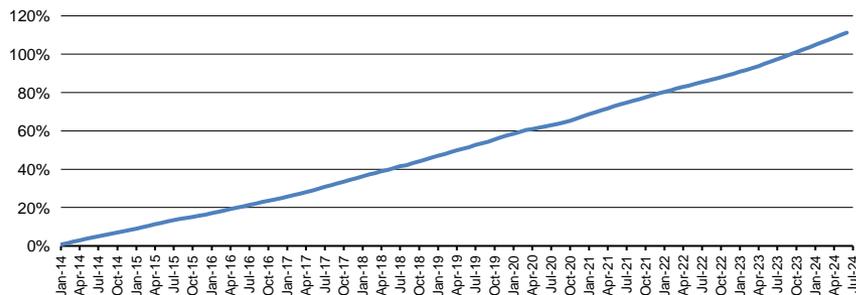
運用戦略の概要

- 先進国&新興国向けのマルチ・セクターのローン戦略
- 世界中のノンバンクや事業会社への短期融資
- フィンテックを活用したローンのモニタリングとリスク管理

運用会社

- 所在地 : 英国、香港、南アフリカ等
- 設立日 : 2004年
- 運用資産 : \$613m (2024年5月末)
- 世界的な地域分散、投資分散を実行
- 収益機会に応じた地域・セクター配分と融資先の機動的な入替
- データ分析によるデフォルト予測と早期エグジット
- アフリカの公務員給与天引融資など安全性に配慮したマイクロファイナンス
- オルタナティブ業界での各種受賞歴多数

運用戦略の累積リターン（実績値）



年度リターンとリスク水準（実績値）

2014	8.40%
2015	7.23%
2016	7.46%
2017	8.34%
2018	7.89%
2019	7.95%
2020	6.29%
2021	7.11%
2022	5.78%
2023	7.23%
2024	3.77%

年率リターン	7.38%
年率リスク	0.33%
リターン／リスク	22.51

2014年1月～2022年6月 米ドル建てリターン 各種費用控除後

グローバル学生寮運営戦略

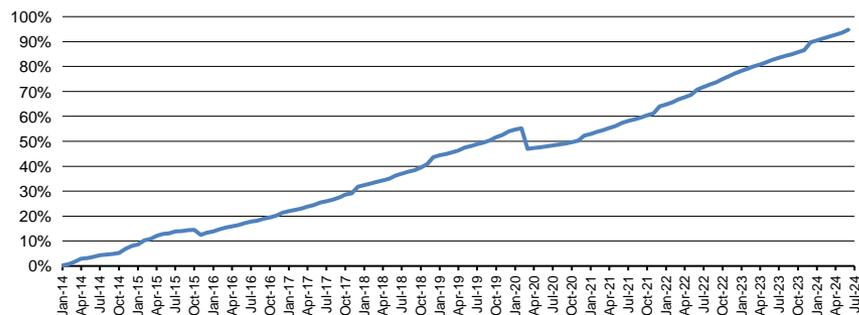
運用戦略の概要

- 世界で唯一、グローバルで学生寮に投資するファンド
- 大学・大学院等の高等教育人口の世界的な増加が追い風
- 不景気時に学び直しの需要増が見込める反景気循環的な性質

運用会社

- 所在地 : 英国
- 設立日 : 2013年
- 運用資産 : £767m (2024年5月末)
- 世界7か国、65都市で学生寮を運営
- 世界の著名大学と良好な関係を構築・維持
- 日本でも9か国語に対応した国際的な学生寮を運営
- ブランド認知とサービスの質の高さにより高入居率を維持
- 世界の著名機関投資家と学生寮に共同投資

運用戦略の累積リターン（実績値）



年度リターンとリスク水準（実績値）

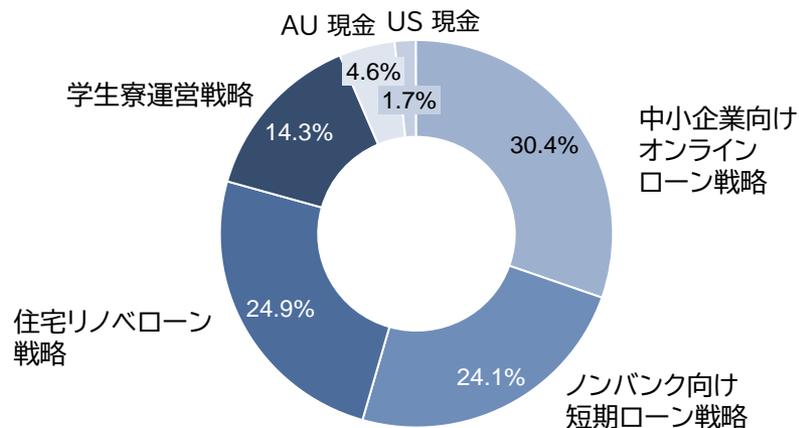
2014	7.96%
2015	5.03%
2016	7.06%
2017	8.63%
2018	8.89%
2019	7.26%
2020	-1.13%
2021	7.67%
2022	8.12%
2023	7.05%
2024	2.63%

年率リターン	6.55%
年率リスク	2.28%
リターン／リスク	2.87

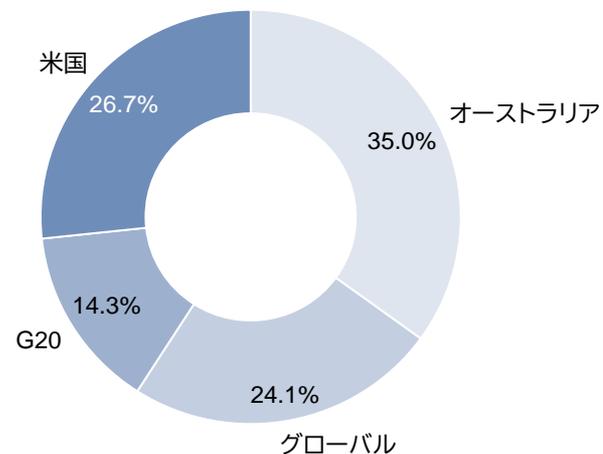
2014年1月～2024年6月 米ドル建て（クラスF）リターン 各種費用控除後

ファンドの特徴(投資戦略・地域を分散)

投資戦略



地域

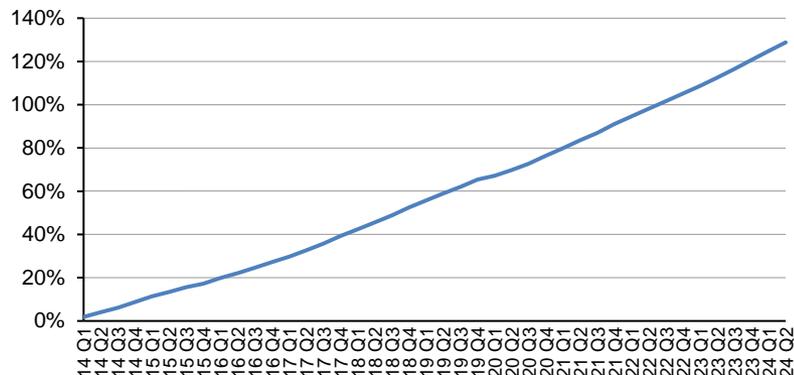


相関

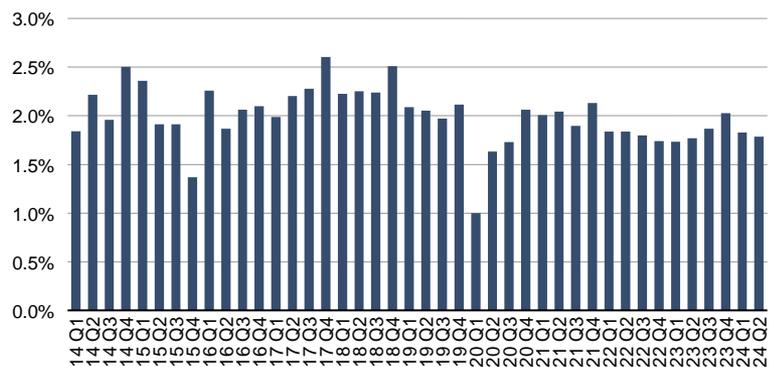
	中小企業向けオンラインローン戦略	住宅リノベーション戦略	ノンバンク向け短期ローン戦略	学生寮運営戦略
中小企業向けオンラインローン戦略	-			
住宅リノベーション戦略	0.19	-		
ノンバンク向け短期ローン戦略	0.52	0.13	-	
学生寮運営戦略	0.09	0.13	0.10	-

運用実績概要(グロス)

累積リターン (%) インデックス (2014年1月 = 0%) (USDベース)



四半期リターン (%) (USDベース)



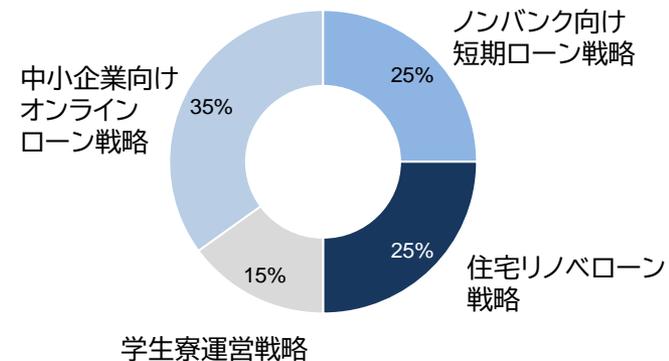
年次リターン

2014	8.80%
2015	8.14%
2016	8.55%
2017	9.38%
2018	9.55%
2019	8.49%
2020	6.58%
2021	8.32%
2022	7.41%
2023	7.60%
2024 (6月末)	3.65%

実績 (USDベース)

リターン(年率)	8.24%
リスク(年率)	0.47%
リターン/リスク	17.50

戦略配分



目次

ジュエル・ボックス・ファンドの概要	1
投資先ファンドについて	4
ファンド情報詳細	11
APPENDIX 今注目のオルタナ投資	16

ファンドの費用

投資家が直接負担する費用

購入時手数料	申込金額の 3.3%(税抜 3.0%) を上限 (注) 申込手数料については、販売会社にお問い合わせください
解約手数料	購入後12か月以内に換金する場合、換金代金の5%が解約手数料として、換金代金から控除されます。 購入から12か月経過後は不要となります。

投資家が信託財産で間接的に負担する費用（ファンド全体が負担する費用、ファンドの管理報酬など）

運用管理費用	投資運用会社	純資産価額の 年率 1.10%(消費税対象外)
	販売会社	純資産価額の 年率 0.80%(消費税対象外)
	代行協会員	純資産価額の 年率 0.10%(消費税対象外)
	実質負担	純資産価額の 年率 2.00%
	管理事務代行会社	最大0.05%(最低年額42,000米ドル)、その他FATCA/CRS、AML等関係諸費用が掛かります。
	受託会社 管理会社	純資産価額の 年率0.02% または 年額15,000米ドル のいずれか高い額 年額35,000米ドル

(注意事項)

本ファンドの投資対象である投資先ファンドにおいて、別途運用報酬および成功報酬等が計上され、投資先ファンドの基準価額に反映されます。投資先ファンド毎にそれらの報酬は異なり、特に成功報酬はその時々のパフォーマンスにより変動するため予め金額や料率を表示することはできません。本ファンドは、これらの運用報酬および成功報酬等を間接的に負担します。

(注) 本ファンドの投資先ファンドは、将来的に変更の可能性があります。

その他費用・手数料(ファンド全体で負担する費用)

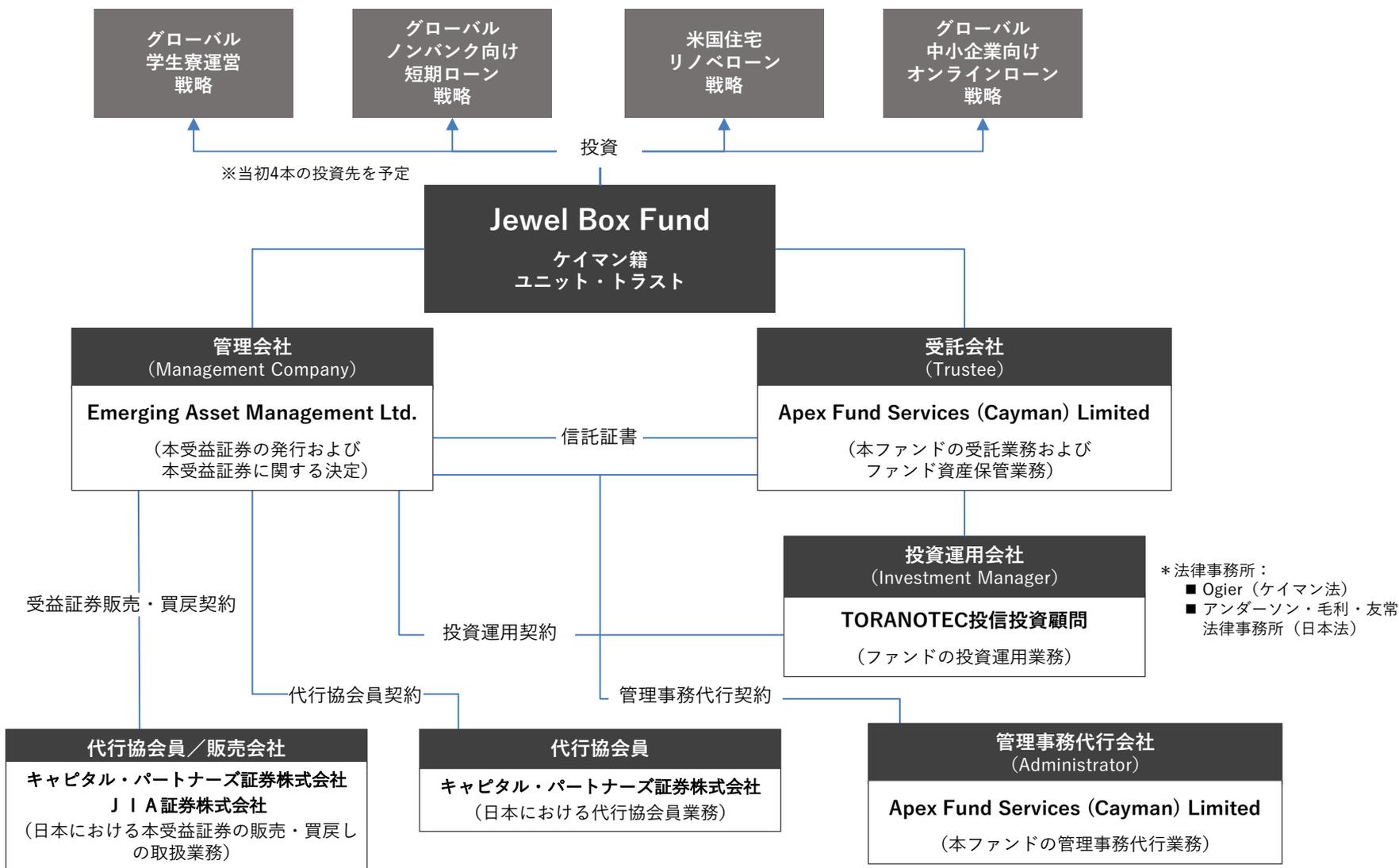
法律顧問、会計、税務、監査等に要する諸費用が運用資産から支払われます。

ファンドのリスク

市場リスク (価格変動リスク)	<p>本ファンドは、他の投資先ファンドに投資するファンドです。投資先ファンドは主に公設市場外で取引されるプライベート・アセットに投資するものの、市場変動の影響を受ける可能性があります。従って、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、1口当たり純資産価格の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。</p>
信用リスク	<p>本ファンドが投資する投資先ファンドは、主にプライベート・アセットに投資するという性質上、取引相手方の債務履行能力に依存します。投資先ファンドの取引相手方が、何らかの理由により債務を履行できなかった場合、本ファンドは損失を被ることがあります。</p>
流動性リスク	<p>本ファンドは、主にプライベート・アセットに投資する投資先ファンドを通じて、流動性リスクにさらされる場合があります。本ファンドが適時に投資先ファンドからの償還ができるかは、投資先ファンドの資産の流動性の損失により影響を受けることがあります。</p>
空売りリスク、 レバレッジリスク	<p>投資先ファンドの中には、デリバティブを通じて指数の空売りやレバレッジを利用するものもあり得ます。従いまして投資先ファンドが空売りしている株式指数、債券、及びその他の証券等が、投資環境等の好転等で価格が上昇した場合、本ファンドの純資産価額が下落し、損失を被ることがあります。また、レバレッジの利用により、資産の変動性の増大などの追加的なリスクがもたらされる他、借入れ金利等の追加的コストがかかることがあります。</p>
デリバティブ取引 リスク	<p>デリバティブ商品の価格は著しい価格変動が生じます。投資先ファンドの資産が先渡契約およびその他のデリバティブ取引に投資された場合、それらは、特に、金利、需給関係の変化、政府の貿易、税制、金融および為替管理の方針、ならびに国際的な政治・経済情勢によって影響を受けます。その結果として、本ファンドが損失を被る可能性があります。</p>
為替リスク	<p>各投資先ファンドは、通常、米ドル建てクラスに投資しますが、米ドル以外の通貨建ての資産に投資する可能性もあります。加えて、本ファンドの円建クラスについては、為替の変動により損失を被ることがあります。従って、当ファンドへ投資した場合の投資元金は、保証されたものではなく、投資元金を割り込むことがあります。</p>
運用者リスク	<p>本ファンドは、本ファンドが投資する投資先ファンドのキーパーソンの運用能力に依存するリスクがあります。投資先ファンドのキーパーソンの退職等によりパフォーマンスの継続性が失われる可能性があります。</p>
換金にかかるリスク	<p>本ファンドの換金は、販売会社を通じてファンドに換金請求を行う方法によります。評価日の65暦日前までに換金請求する必要があります。換金価格は評価日(該当する換金日直前の四半期末最終ファンド営業日)の1口当たり純資産価格に基づいて算定されます。従って、換金価格は換金のお申込み時点では確定しておらず、かつ、換金により実際に受け取る金額は当初の投資金額を下回る可能性があります。加えて、本ファンド総資産の25%以上の換金請求があった場合、一部を翌四半期に繰り越す場合があります。但し、繰り越しは4回までとし、その後残額が全て返還されます。</p>

※受益証券への投資に伴うリスク要因は、上記に掲げられたリスク要因に限られません。詳細は、請求目論見書をご確認ください。

ファンドの関係者図



申込手続き

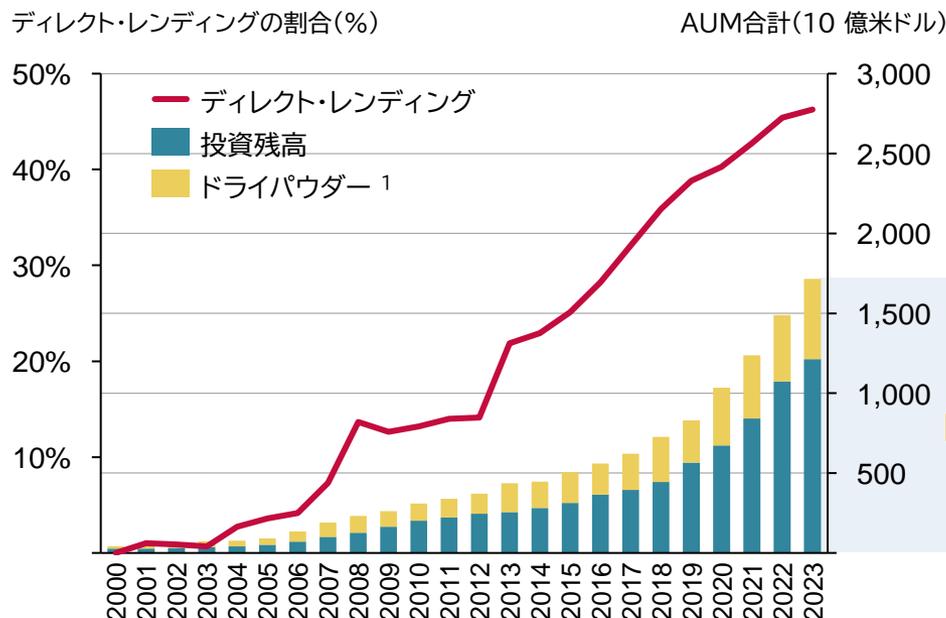
購入申込	当初募集締切日:2024年10月17日(木)午後3時(日本時間)までに、販売会社へお申し込みください。 追加購入締切日:毎月第一営業日(以下に記載)の10ファンド営業日前(販売会社/販売取扱会社との間で別途取り決める場合はそれに従います。購入・換金日程表をご参照下さい。)
購入単位	日本円クラス 当初募集:1口= 1,000 円、100万円以上1,000円単位 追加購入:100万円以上1円単位 米ドルクラス 当初募集:1口= 10ドル、10,000米ドル以上10米ドル単位 追加購入:1万ドル以上1セント単位
購入価格	評価日(以下に記載)の1口当たり純資産価格(NAV)
購入代金	購入申込日の午後3時(日本時間)までに販売会社の入金確認が必要となります。
ファンド営業日	ケイマン諸島、東京、上海の銀行営業日
評価日	(該当する購入日または換金日直前の)月末最終ファンド営業日 *購入日:毎月第1ファンド営業日、換金日:各暦四半期(各年1、4、7、および10月)それぞれの第1ファンド営業日
換金単位	1口単位
換金申込	各四半期末の評価日の65暦日前の午後3時(日本時間)までに、販売会社へお申し込みください。 (購入・換金日程表をご参照下さい。)
換金価格	評価日の1口当たり純資産価格(NAV)
換金代金支払日	換金日から概ね45ファンド営業日以内で、販売会社に着金した日を国内約定日とし、その翌々営業日
購入・換金申込受付の中止・取消	本ファンド純資産の25%以上の換金請求があった場合、一部を翌四半期に繰り越す場合があります。但し、繰り越しは4回までとし、その後残額が全て返還されます。証券取引所などにおける取引の停止、その他やむをえない事情がある時は、純資産価額の計算、受益証券の発行、買戻しまたは買戻代金の支払を延期または停止することができます。
決算日	毎年12月末日
収益分配	原則分配は行いません。
運用報告書	ファンドの決算から半年以内、および償還時に運用報告書を作成し、知っている受益者に交付します。
課税関係	売却時に譲渡所得として課税されます。(詳細は上場等有価証券等書面をご覧ください。)

目次

ジュエル・ボックス・ファンドの概要	1
投資先ファンドについて	4
ファンド情報詳細	11
APPENDIX 今注目のオルタナ投資	16

資産運用はオルタナ投資(プライベート・デット)に

グローバル・プライベート・デット戦略のAUM

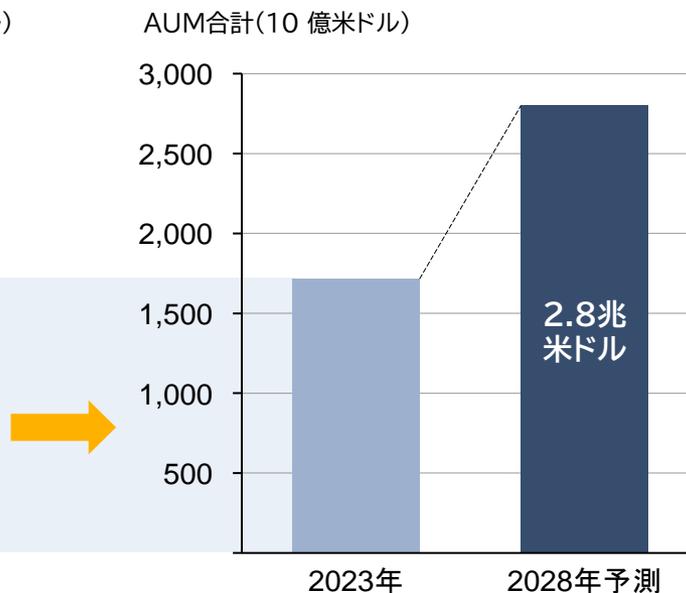


出所: US Federal Reserve Economic Research Data

注: 1. 「ドライパウダー」とは、コミットされたが投資されていない資本を指す。

投資残高は、コミットメント資本と投資残高(通常はローン形式)の合計

世界のプライベート・デット市場規模将来予測



出所: Morgan Stanley Investment Management
“Understanding Private Credit”, June 20th 2024

資本形成は長期的にプライベート・デットにシフトしていくと予測されている

プライベート・デットの役割とは

プライベート・デットを組み入れるメリット

当期利益



流動性
プレミアム



歴史的に低い
損失率



多様化



金利リスク管理



カスタマイズされた
ポートフォリオ構築



日本でもオルタナ投資が拡大中(1)

日本経済新聞

東大、高リスク投資6割に 自主財源拡大へ基金積極運用

アセットマネジメント [+ フォローする](#)
2023年3月31日 2:00 [会員限定記事]

保存

Think! 多様な観点からニュースを考える [中塚麻奈さんの投稿](#)

東京大学が自主財源の拡大に向けて積極的な資産運用にかじを切る。未公開企業の株式や不動産など、リスクが大きい分、より高い利回りを狙うオルタナティブ（代替）資産への配分比率を6割と現状の2割から引き上げる。大学の国際競争力を高めるために必要な研究活動などに使う資金を増やす。

東大は寄付金を原資に基金をつくり、資産運用している。直近の総額は約440億円で基本的な構成は債券が60%、上場企業株式と代替資...

Bloomberg

金、オルタナ投資6割で増幅する

検索

元ブラックロックCIO率いる東大基金、オルタナ投資6割で勝機探る

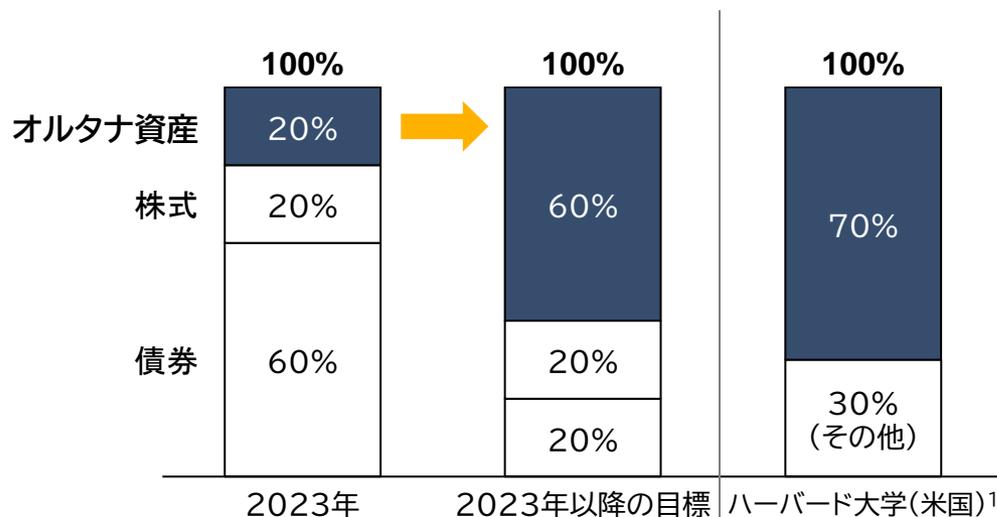
櫻川博
2024年6月27日 7:00 JST

- プライベート・デット軸に運用益積み増しへ、金利優待も享受
- 300億円の運用資産を寄付金拡大も踏まえて27年には1000億円目指す

元ブラックロック・ジャパン最高投資責任者（CIO）の櫻川氏が率いる東京大学の寄付金運用基金は、株式や債券以外のオルタナティブ（代替）資産への投資に大きくかじを切った。中でも、銀行以外の主体が投資家から集めた資金を融資の形で貸し出す「プライベート・デット」投資を軸に、運用益の積み増しを狙う。

ブラックロックのCIOを約7年間務めた櫻川氏は2023年4月、東大のCIOに就任。東大は櫻川氏を迎えた同年1月から、基金の運用目標の引き上げと資産配分比率の見直しに踏み切った。オルタナティブ投資を従来の20%から60%へと大幅に引き上げる一方、円ベース債券の比率を引き下げた。

大学基金の配分比率



出所: 日経新聞, Bloomberg, 東京大学

注: 1. Harvard University allocation 70% alternatives is comprised of 39% private equity and 31% hedge funds

日本でもオルタナ投資が拡大中(2)

ゆうちょ銀行(オルタナ投資推移)

(プライベート・エクイティ、不動産を除外)

(単位: 兆円)



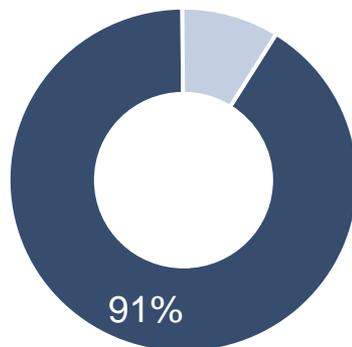
出所: ゆうちょ銀行 2024年3月期決算説明資料 (2024年5月15日)

ポートフォリオの多様化とリターン拡大を目的に、既存の資産クラスと相関性の低い資産に投資を拡大

プライベート・デット保有比率の国際比較

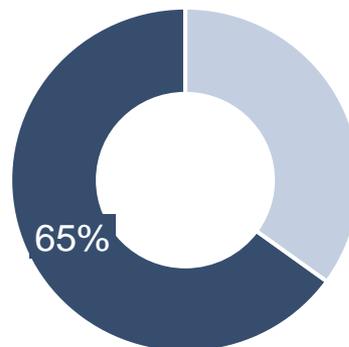
2023年 保有比率

 米国¹



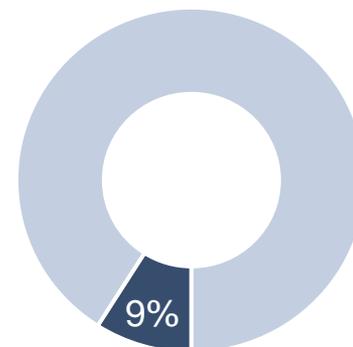
プライベート・デット

 欧州¹



プライベート・デット

 豪州²



プライベート・デット

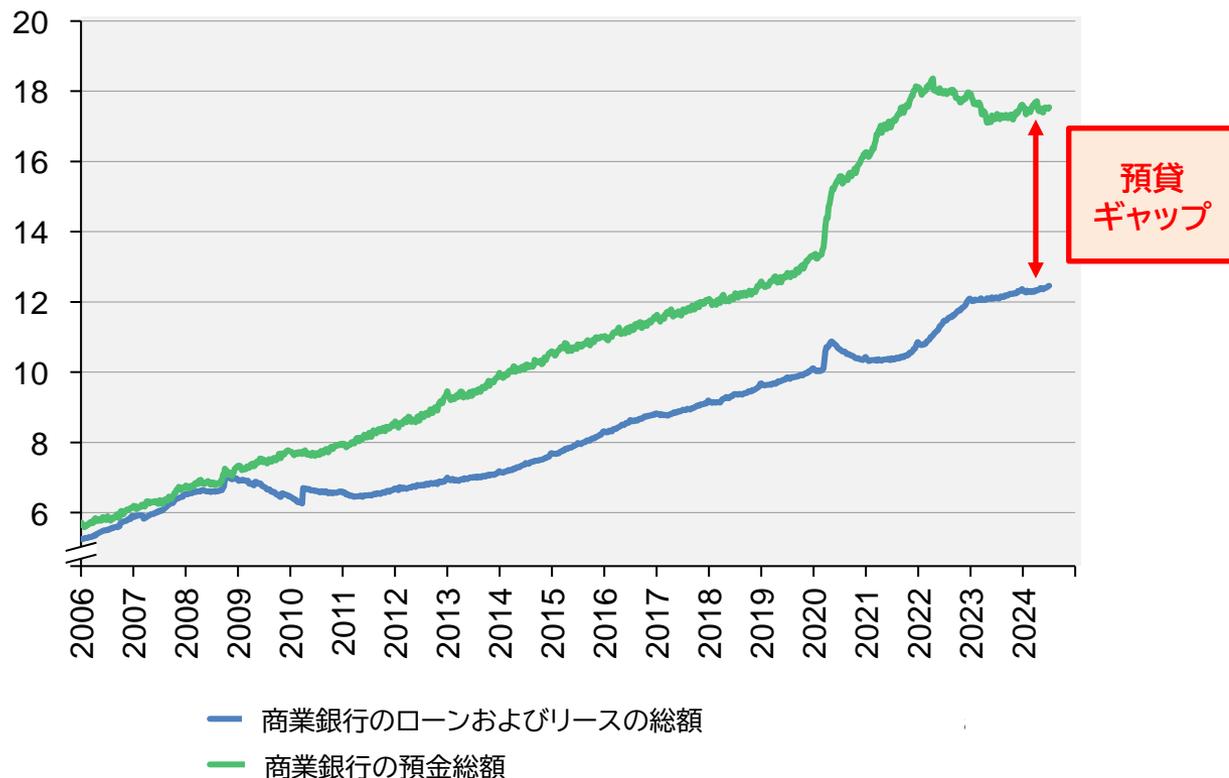
出所: S&P Capital IQ

注: 1. Leveraged Finance Lending
2. Business Lending

オーストラリアが海外市場の構造変化に追随すれば、
オーストラリアにおけるプライベート・デットは中長期的に大きく拡大する可能性があります

プライベート・デットが拡大している理由(1)

米国の商業銀行-ローン・リースと預金の比較
2006年1月～2024年6月、兆米ドル(季節調整なし)



預貸ギャップの拡大

■ 2008年金融危機

- 2008年の金融危機以降、預金の伸びと比べると貸出は伸びなかった
- 信用リスク管理に関する新たな規制(ドッド・フランク法等)により、銀行の貸出が制限された

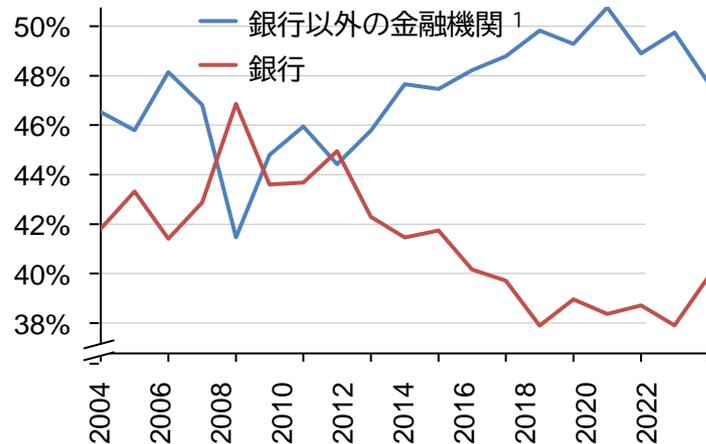
■ コロナショック

- コロナ渦以降、安全資産への逃避により預金は大幅に増加
- コロナ渦による景気後退は貸出を鈍らせた

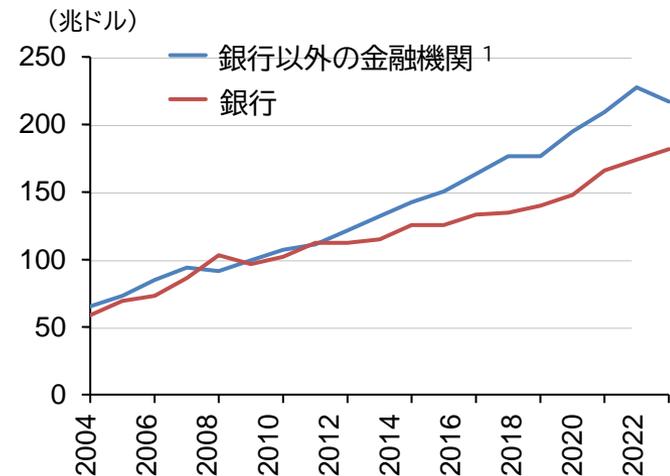
出所: Federal Reserve Economic Research Data

プライベート・デットが拡大している理由(2)

グローバルベース金融資産割合(%)²



グローバルベース金融資産残高(兆ドル)²



2010 金融セクター 改革

2010年6月
ドッド=フランク・ウォール街改革・消費者保護法
米国の金融システムをより安全なものにし、
2007~2008年の金融危機を引き起こした過
度のリスクテイクの再発を防止するための法案

2010年11月
バーゼル 3
世界的な金融危機の再発を防止する目
的で、国際的に事業を展開する大手銀行
に対して、自己資本の強化を要求する規
制

注:1. NBFIsとは、中央銀行、銀行、公的金融機関以外の金融機関を指す。NBFIsの種類には、保険会社、年金基金、投資ファンド、キャプティブファイナンス会社および貸金業者、清算機関、ブローカー・ディーラー、ファイナンス会社、信託会社、SIV(ストラクチャード・ファイナンス・ビークル)などが含まれる。

注:2. 中央銀行および公的金融機関の保有分を除外しているため、合計は100%にならない。

出所:FSB (Financial Stability Board) Global Monitoring Report on Non-Bank Financial Intermediation (2023), p.7

オルタナ投資のメリットとデメリット

メリット

- 事業そのものに直接投資することが可能
- 需給や将来予想により価格が変動する余地が低い
- 株式や債券等の伝統的資産との相関が低い
- 日々の株・債券・為替市場に一喜一憂することなく、長期的なスタンスで投資できる
- 運用戦略の事業はリアル経済そのものであることから、実体経済に詳しくなる

デメリット

- 短期間で高収益を狙える運用戦略ではなく、収益化までに時間を要するものが多い
- 日々換金できるわけではなく解約流動性が低い(5~10年間換金できないものもある)
- 機関投資家向けの商品が多いため最低投資金額が大きい(分散投資が難しい)
- 一般投資家にはアクセスが難しい
- 運用会社・戦略・商品の良し悪しを見極めるための、デューデリジェンス(DD)に高度な専門性が必要とされる

オルタナ投資に適している投資家

- 中長期で安定・着実な収益を確保したい投資家
- ある程度の解約制限を受け入れられ、長期的なスタンスで運用を行いたい投資家
- 伝統的資産(株式や債券等)と分散効果を図りたい投資家

TORANOTEC投信投資顧問株式会社

運用部門 主要メンバー



カタリン・ムンテアヌ 運用担当取締役

20年以上に渡り、ステート・ストリート・グループのグローバル・マーケット部門において、日本をはじめ、オーストラリア、中国(香港を含む)、シンガポール等アジア諸国の中央銀行、政府系ファンド、運用会社及び年金基金等機関投資家顧客に対し、ポートフォリオ・ソリューションの提供に従事。運用責任者として、投資一任契約に基づき、顧客毎に資産運用、トレーディング、オルタナティブ戦略を含む多様な資産クラスおよび為替の専用戦略の立案・実行を担い、業界初となる事例を多数生み出した経験を持つ。2022年7月TORANOTEC株式会社にマネージング・ディレクターとして参画し、2023年1月より現職。一橋大学法学部学士。



山岡 浩孝 運用部長

複数の投資顧問会社においてファンドマネージャーを歴任。株式、債券、REIT、コモディティ及び派生するデリバティブなど、様々なアセットクラスに分散したマルチアセット運用を得意とする。2017年より「トラノコ・ファンド I、II、III」の運用責任者。運用歴約30年。

日本証券アナリスト協会認定 証券アナリスト、宅地建物取引士、ファイナンシャル・プランニング技能士、情報処理安全確保支援士試験合格者。香川大学法学部卒業。



トーマス・シェヴリエ PhD. ファンド推進部長

ポートフォリオ構築・リサーチ担当。博士課程終了後、ステート・ストリート・グループのクオンツ分析部門である、ステート・ストリート・アソシエイツのアジア責任者としてアセットアロケーション、ポートフォリオ構築、クオンツ分析サービスなどを年金基金や中央銀行等に提供。その後シカゴ経営大学院の非常勤准教授としてポートフォリオ・マネジメントで教鞭をとる。シカゴ大学経営大学院 MBAおよび博士号取得。

免責条項

- 本資料は、本ファンドの投資運用会社であるTORANOTEC投信投資顧問株式会社が作成した資料に基づき、キャピタル・パートナーズ証券株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第62号、日本証券業協会・一般社団法人 第二種金融商品取引業協会加入)が作成したものです。本資料は金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- お申込に当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)を必ずお読みいただき、商品の仕組み、リスク及び手数料等の諸費用について必ずご確認・ご理解の上、お客様ご自身でご判断ください。
- 本ファンドは値動きのある有価証券などに投資しますので、基準価額は大きく変動します。従って、投資元本が保証されるものではありません。信託財産に生じた利益及び損失は全て受益者に帰属します。
- 本ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 本ファンドは預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護対象ではありません。
- 当資料は、資料作成日において信頼性の高いと判断した情報などに基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載事項は本ファンドの投資先ファンドが同類型の運用方針などに基づき運用する別のファンドの過去の運用実績に基づくものであり、本ファンドの運用実績あるいは将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。